

- タウン情報 -

まきがわ

2021

4

Vol. 175



住みよい菊川をつくる会の人たちが整理した菊川支所・市民センター車庫

下上連合自治会から外用機の寄贈

下上連合自治会より外用機 53 台と机を運ぶ台車 1 台を、住みよい菊川をつくる会に寄贈していただきました。住みよい菊川をつくる会が所有していた約 100 台の外用機は、菊川まつり等のイベントの際に使用されてきました。しかし、購入から長い年月が経過していることもあり、問題を抱えた機が多くあったので、大変助かりました。誠にありがとうございました。

住みよい菊川をつくる会 次回発行は令和3年7月です。

タウン情報 まきがわ (175号) 2021年4月1日発行

発行 / 住みよい菊川をつくる会 問合せ / 菊川市民センター 〒746-0082 山口県周南市大字下上 2146
☎ 0834-62-2801 ✉ kiku-ko@city.shunan.lg.jp

わが家のペット

大集合



菊川のかわいいペットを集めました♪



▲ バディくん - もうすぐ 15 歳になりますが、まだまだ元気で、我が家の大切な「相棒」です。



▲ ココちゃん - いつも元気に遊んでくれてありがとうね♪これからも元気に長生きしてね！



▲ Cooちゃん - あっという間に 15 歳。まだまだ元気に長生きしてね！

周南市社会福祉協議会会長

表彰式にて菊川地区より

6名受賞

令和2年11月11日(水)に周南市社会福祉協議会会長表彰 表彰式が開催され、以下6名の方が受賞されました。いつもありがとうございます！

- ・ 貞弘 マサヨ さん ・ 藤本 威 さん
 - ・ 柳 桂子 さん ・ 山田 淳子 さん
 - ・ 山本 富美子 さん ・ 渡邊 休則 さん
- (永年、菊川地区福祉員として、地域福祉推進に寄与)

菊川地区 夢プランについて

菊川地区夢プラン策定委員会(約50名)が令和元年7月より策定を開始した「菊川地区夢プラン」が令和3年2月をもって完成いたしました。現在完成した夢プランを地域の皆さんにお見せすべく、チラシ印刷に取り掛かっている最中です。近いうちに皆さんに必ずお見せしますので、もうしばらくお待ちください。

令和3年度は、新たにキクガ“わ”ユメプラン委員会(仮称)を立ち上げ、今回完成した夢プランの内容をより具体的なものにするともに、その実現に向けて活動を行っていく予定です。

夢プランについて知りたい方や、委員会への参加・協力していただける方がいれば、事務局である菊川市民センター(62-2801)までお問合せください！

数字で見る菊川 (2月末の人口等)

世帯 3,307 世帯 / 人口 7,898 人 / 男 3,835 人 / 女 4,063 人

菊川フォークダンスクラブ さま

今回は、菊川フォークダンスクラブの渡辺洋子先生(会長)と山本栄子さんにインタビューしてきました。フォークダンスそのものにも歴史がありますが、菊川フォークダンスクラブも今年で25周年！平成8年から続く息の長いクラブです。



現在メンバーは13名。平成8年から参加している方が4人います。

「どのような活動をされていますか？」

踊りの好きな仲間が集まって、毎週1回フォークダンスを楽しんでいます。上手下手なく、きれいな音楽に合わせて体を動かせば健康づくりに最適です。体力だけではなく、人との交流も維持できて認知症予防にもなります。鮮やかな衣装で踊れば気持ちも華やぎますよ！メンバーは真面目でほかからかな人が多く、先生会長)は日本フォークダンス連盟公認指導者1級です。

「コロナ禍の中、活動に影響はありましたか？」

発表の場が無くなって少し寂しく感じています。コロナ対策として、日々の健康管理に気を付けるようになりました。練習時も、マスクにズボン、直接人に触れぬように手袋をしています。時間を

を決めて換気を行い、クローズドポジション(体を密着させる)の踊りはしていません。

「どうすればクラブに参加できますか？」

まずは見学をしてみたいかがでしょうか。毎週木曜日9時30分から11時30分まで、菊川市民センターで活動しています。会費は月1000円。踊りが好きな人であれば年齢は問いません。菊川フォークダンスクラブでは、やさしく誰でもできる踊りを心がけています。お問い合わせは菊川市民センター(☎6212801)まで。お待ちしております！

「今日はありがとうございました♪」



菊川 深訪

第44回 記念樹を探そう!!

旧徳山市では、高度成長時代に、子供の誕生の祝いで、「記念樹」を貰うことが出来た。近所には、市の木である「クスノキ」を当時貰い、現在は巨木になっている。又、その当時「徳山百樹」の本も発刊され、個人宅で代々守られて来た巨木や珍しい花の木が紹介され、樹の持つ生命力やその樹が持つ景観のパワーを感じた。特にコロナ禍では、自然の風景がある生活は大切と思う。地域でも樹の名前を調べ、「名前を知らない樹」でなく、名札を付け、子供たちに自然に対する感性を育てる活動も行われている。

富岡公園の入り口付近に、「アメリカスズカケノキ」と名札が付けられ、根には「大正六年三月(一九一七)の石碑を抱えていた。残念ながら、巨木でありながら、上部は枯れている。でも根元付近では、大きな葉が芽吹いて、我慢強い樹であり、その根性でいつまでも頑張れと応援する。「アメリカスズカケノキ」を調べると、別名「プラタナス」の一種であるが、通常の街路樹のものとは異なる樹であった。この公園は、旧富岡小学校の跡地であり、富岡小学校は、明治四十二年五月(一九〇九)に、この地へ校舎移転したと記録があるので、その後植えられたことになり、約百年間も地域を見て来たことになる。植樹が三月であり、卒業記念であったのではと想像した。



アメリカスズカケノキと記念石碑(富岡公園内)

また、加見公園(旧加見小学校の跡地)の脇にも、「カイズカイブキ」の樹と、「大正十五年五月」の石碑がある。その石碑には、「皇太子殿下行敬記念 加見図書館創立記念樹」と彫られている。皇太子殿下は、故人である「昭和天皇」である。明治・大正時代に図書館が建てられた。「児玉文庫(児玉源太郎が開設した私設図書館)や、福川には福田民平が「福川図書館」を、明治四十一年に寄贈し、福川小学校の校内にあった。図書館は知の宝庫であり、地域の文化興隆の為に、未来の子供達に託した贈り物であった。

〔統括コーディネーターより〕 菊川中学校区 家庭教育支援チームについて

令和2年10月に地域の皆さんに立ち上げをお知らせしました、「菊川中学校区家庭教育支援チーム」についてです。当チームは令和2年度の会議を通して、チームの愛称を「きくスマ」と決定するとともに、菊川地区における保護者に対してどのような支援が可能かどうか協議を重ねました。

しかし11月末以降、周南市内における新型コロナウイルスの感染拡大が進行する状況を鑑みて具体的な取り組みを行うことが叶いませんでした。令和3年度にはコロナウイルスと向き合いながら、自分たちが菊川地区の保護者に対して何ができるかを考え、実行に移していきたいと思えます。

菊川中学校区
統括コーディネーター

桐山 正徳